

* * *

次号の特集予告

287 巻 2 号 (2023 年 10 月 14 日発行)

遠隔医療，オンライン診療の現在と未来

企画：近藤博史（日本遠隔医療学会会長，協立記念病院院長）

- ・日本ではコロナ禍で一挙に施設間の ICT 利用が盛んになったが，電子カルテから電子健康記録移行時に情報の統合をせず，他院の EMR を“見える”だけにしたが，統合された海外の EHR はパーソナルヘルスレコード (PHR) の時系列表示 (PHR 表示) が可能である。
- ・コンピュータが処理するためにはデータ統合が必要で，日本でよく使われる“見える化”ではできない。セキュリティに注意が必要なデータの統合が日本では遅れており，最近話題のサイバー攻撃の対策の遅れもその意味で同源といえる。
- ・本特集では，遠隔医療分野で注目を浴びるオンライン診療の現状と課題について，制度や政策上の現状や課題，診療面として AI 利用，遠隔 ICU などの最新の取組みについて各分野の専門家に著述いただいた。